

26年 7月 26日(土)

〈第3種郵便物認可〉

母国の料理を宇部の 子供たちに手ほどき

ウガンダのジャゴブさん

宇部市内で英会話教室・国際交流サロン「English4U!」を運営するウガンダ人、センクバ・ジャゴブさんによる母国料理「ロレックス」の調理指導が、このほど、琴芝ふれあいセンターの調理室であり、親子16人に手ほどきました。

子供たちが夏休みに合わせて、仕事やものづくりにチャレンジするNPO法人つべネットワークの「キッズつべたん20

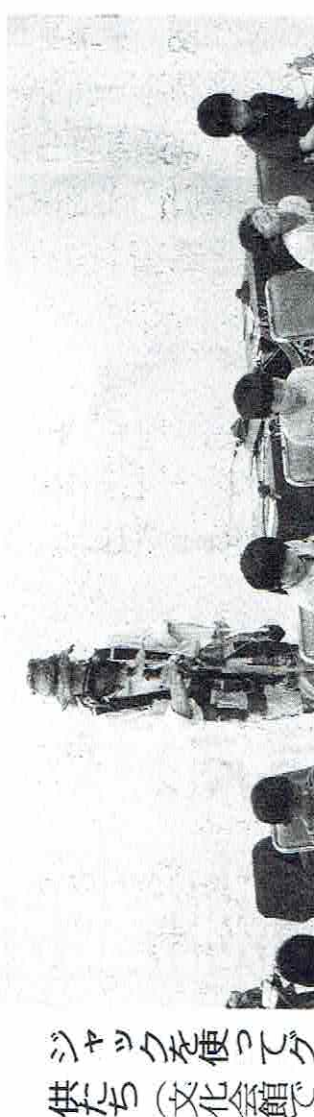
14」の一環。ジャゴブさんは英語、フランス語など4カ国語に堪能。ウガンダは赤道直下にあるアフリカの真ん中の国。標高が高い所にあるので、気温は思ったほど高くはありません。魚を食べる文化に関しては、日本と共通した面があります。この機会にウガンダのことを知ってほしい」と、流ちょうな日本語で母国を紹介した。



ウガンダ料理の手ほどきをするジャゴブさん（琴芝ふれあいセンター調理室で）

つべ子ども21（花樹理事長）主催の鑑賞会「グレゴの音楽一座」のほぶ文化会館で開かれた。未就学児から小学生までの90人が、様々な楽器やユニークな形が織り成すパノエ

ロレックスは、ウガンダの屋台などで販売される庶民の味を再現。食材は小麦粉、タマネギなどを用意。小麦粉とみじん切りのタマネギをクレープ風に延ばして焼き、卵をフライパンに広げて重



ジャックを使って子供たち（文化会館で）